

「ドンドン語ろう！」東区（令和元年（2019年）6月2日 東部公民館ホール） ご意見用紙提出分 参加者：61名

No.	ご意見	回答	局	担当課
1	<p>(1) 特定健診受診率について 持病があり年一回総合的に検査している人は受診券を利用しないようだ。かかりつけ医でも、ここで検査しているから特定健診は受けなくても大丈夫と言う医者もいる。受診券を使用しなければ数字に反映しないので、医者側も積極的に受診券使用を働きかけてほしい。</p>	<p>特定健康診査実施機関に向けて、年に1回熊本市国保健診だよりを作成しており、その中で、通院中の特定健康診査の受診も可能であることなどについての記事を掲載し、医療機関からも積極的な受診勧奨をお願いしているところである。引き続き、様々な機会を捉えて健診実施機関への協力をお願いしながら、特定健康診査の受診率向上を図っていきたいと考えている。</p>	健康福祉局	国保年金課
	<p>(2) 健康ポイントについて ①健診、②毎日、③お出かけ、すべての運用実現を望む。 子ども、大人にかかわらず、ごほうびがあれば頑張れる。 ポイント方法は、デジタル、アナログ両輪での支援を望む。例えば、スマートフォンアプリのほか、デジタルが苦手な人のためにはポイントカードにゴム印を押すなど。医療費、介護費の削減になってほしい。</p>	<p>健康ポイント事業は、今年度試行運用としてスマートフォン専用アプリを予定しており、スマートフォンをお持ちでない方への対応も検討していく。</p>	健康福祉局	健康づくり推進課
	<p>(1) 道徳教育の取組について ICT教育に力を入れることは必要なことだし、推進していくことは良いことだと思うが、根本的な話として、教育の三要素と呼ばれる知育・徳育・体育の中で、土台となるものは徳育である。昨年度から小学校、今年度から中学校で道徳が教科化されたし、やはり、心の教育でもある道徳教育にも力を入れていくことが重要であると思う。このあたりの取り組みも具体的に推進していただきたいと思う。 ある日本の教育学者は「神なき知育は知恵ある悪魔をつくることなり」という言葉を残している。「神」という言葉は「良心」という言葉に置き換えても意味は大きくは変わらないと思う。そして、生徒一人ひとりの「良心」を育て強くしていくことが道徳教育であると思う。道徳教育に対する熊本市の積極的な取組をお願いしたいと思う。</p>	<p>本市では、道徳の教科化のねらいの達成に向けて様々な取組をしている。道徳教育推進協議会を設置し、本市の道徳教育の推進と方向性についての協議を行うほか、年3回の道徳教育推進研修会を開催し、授業づくりや道徳教育の推進についての説明や具体的実践例を紹介したり、大学教授の指導を仰いだりしている。さらに、研究指定校やモデル校を設置して公開授業の実施や研修会での発表を通して実践を広げること等に取り組んでいる。これらを受けて、各学校で校内研修を実施することで、共通理解と共通実践が進んでいる。 また、11月を「心かがやけ月間」とし、挨拶運動やボランティア活動等の体験活動や、道徳の公開授業、「親子道徳」等の充実を図るとともに、地域の人や保護者が参加する学習にも力をそそいでいる。そのほか、子どもの感性を育む教育の推進として、社会貢献や文化・芸能・スポーツ活動などで活躍している母校の先輩や本市の著名人を講師として招き、授業に参加してもらう等の取組も実施している。</p>	教育委員会事務局	指導課

「ドンドン語ろう！」東区 (令和元年(2019年)6月2日 東部公民館ホール) ご意見用紙提出分 参加者: 61名

No.	ご意見	回答	局	担当課
2	<p>(2) パートナーシップ宣誓制度について</p> <p>熊本市では平成31年(2019年)4月から「パートナーシップ宣誓制度」が始まったが、これに関連して熊本市内の小学校や中学校など学校現場での性的マイノリティに関する教育の場(当事者や推進者による出張授業・講演会等)を持つ計画はあるか。この件に関しては、慎重に取り組んでいただきたいと思う。性的マイノリティの方を差別せず、理解を深めることは大切なことであると思うが、講演会等の場が、自己の権利や思想、政治的主張をアピールするような場にならないように注意していただきたいと思う。</p> <p>この「パートナーシップ宣誓制度」に関しては、海外に目を向けると「同性婚」につながる可能性が高いように感じるし、そのことによる弊害も様々起こっているようである。このことについては、どのようにお考えだろうか。</p> <p>「結婚」に関して様々な考え方があことは承知しているが、やはり基本は日本国憲法にもあるように「婚姻は、両性の合意のみに基づいて成立し」、つまり、結婚は一人の男性と一人の女性の合意により成立するものであると思う。それ以外の形態に関しては公で認める必要性はないものと感じる。もし可能であれば、「パートナーシップ宣誓制度」が始まってから、申請が何組あったのかを教えてくださいないだろうか。実際に必要とされている方が熊本市内にどれくらいいらっしゃるかどうかの確認のために。</p>	<p>【男女共同参画課】</p> <p>「パートナーシップ宣誓制度」については、一方又は両方が性的マイノリティであるお二人の気持ちを本市として受け止めることにより、周囲の無理解や偏見、差別などの解消や、当事者の社会参画を支援していくことを目的として、今年4月1日より開始した。</p> <p>これまで1組の申請があり、8月にはカップルが誕生した。</p> <p>この制度の導入により、市民の性的マイノリティに対する正しい理解が促進されることを期待するものである。</p> <p>なお、パートナーシップ宣誓制度は法的効力を含むものではないことから、同性婚とは全く異なる制度である。</p> <p>【人権教育指導室】</p> <p>性的マイノリティに関する人権教育研修については、昨年度、各園・学校の人権教育主任を対象に実施し、教職員への啓発から進めているところである。また、昨年行った人権教育推進状況調査によると、小学校8校(92校中)中学校11校(42校中)で授業や集会等の中で、性的マイノリティに関する学習を行っている。</p> <p>教育委員会としては、性的マイノリティの方々を含む、すべての人たちが自分らしく生き生きと暮らせる学校、社会づくりを実現するために、多様性を尊重する人権教育の推進が大切であると考えており、今後もこの視点に沿った取組を学校と連携を図りながら進めていく。</p>	<p>市民局</p> <p>教育委員会事務局</p>	<p>男女共同参画課</p> <p>人権教育指導室</p>

「ドンドン語ろう！」東区（令和元年（2019年）6月2日 東部公民館ホール） ご意見用紙提出分 参加者：61名

No.	ご意見	回答	局	担当課
3	<p>■児童教育施設の周りを取り巻く環境・環境影響について</p> <p>九州新幹線熊本駅前・西口広場から90mの近くに児童教育施設・春日小学校正門がある。つまり、現在、新幹線熊本駅正面からの西口道路と田崎春日線の交差点の位置になり、車の洪水氾濫で、騒音、振動、排気ガス、浮遊粒子状物質等に晒された教育環境で勉強に励み運動場で体育スポーツに励んでいる。また、新幹線熊本駅ホームからの案内放送も流れ、児童教育施設として健全な教育環境なのか、疑問に思う。</p> <p>更に追い討ちをかける様に、熊本駅南線が新設され、春日小学校の目の前に800台収容の立体駐車場が新設されたため、児童教育施設の教育環境改悪につながると思う。関係機関と設計協議は充分なされたとは思いますが、児童の健康への影響・児童教育施設の環境規制があるはずだと思うが、800台収容立体駐車場による環境影響調査説明責任もあるはずである。</p>	<p>【環境政策課】</p> <p>自動車による騒音等について。</p> <p>令和元年（2019年）6月24日に、ご意見にある県道春日線と熊本駅西口道路の交差点付近における自動車による騒音、振動、及び熊本駅でのアナウンスによる騒音を測定したところ、それぞれの基準を満たしていることを確認した。また、浮遊粒子状物質についても、8つの自動測定局において監視し、交通渋滞の著しい地域を含め、市内全域において基準を満たしているところである。</p> <p>環境影響評価制度について。</p> <p>環境影響評価制度は、道路などの開発事業が行われる場合、それが周辺環境にどのような影響を与えるかを、事業者が事前に調査、予測及び評価し、その結果を公表して住民等や行政の意見を聴き、十分な環境保全対策を実施することにより、よりよい事業計画を作り上げていく制度である。</p> <p>本市が開発事業を行う場合には、環境影響評価法及び熊本県環境影響評価条例に従い手続きを進めていくが、道路の新設等、一定規模以上の事業を対象としているところである。ご意見にある立体駐車場建設事業は、環境影響評価の対象ではないが、今後も、市域における大気汚染等について監視を続けていくので、ご理解のほどよろしくお願ひしたい。</p> <p>【健康教育課】</p> <p>児童教育施設の教育環境について、学校の環境衛生に関する基準「学校環境衛生基準」が文部科学省から出されており、この基準の達成状況を調査するため、教職員による日常点検、学校薬剤師や専門業者による年1回の定期検査を行っている。検査項目についてもこの基準で定められており、温度、湿度、浮遊粉じん、気流、一酸化炭素、二酸化窒素、照度、騒音等がある。</p> <p>春日小学校については、平成30年度の定期検査による数値は、いずれも基準値以下であった。</p> <p>今後も、日常点検や定期検査の結果を注視し、学校環境の安全に努めていきたい。</p>	<p>環境局</p> <p>教育委員会 事務局</p>	<p>環境政策課</p> <p>健康教育課</p>
4	<p>■まちづくりについて</p> <p>まちづくりのユニバーサルデザイン化は熊本市民みんなに関わることであり、行政側だけのシステムづくりに無理をしないでほしい。市民側にも勉強の場がほしいと思ひ、東区の東部・秋津・託麻のまちづくりセンターに話をした。世界に通用する熊本五区五輪書を完成させてほしい。国連や国政、県政のまねではなく、熊本市オリジナルの市政を実行してほしい。</p>	<p>本市では、平成24年の政令市移行に伴い、5つの区の魅力や特性を生かしたまちづくりを推進していくため、区のめざす姿やまちづくりの方向性を示す「まちづくりビジョン」を地域団体の代表など各分野の関係者で構成されるまちづくり懇話会や住民ワークショップ、アンケートなどを経て、区ごとに策定している。</p> <p>現在、その実現に向けて各区役所では、幅広い世代の住民や地域団体などが企画や準備段階から実施・評価まで積極的に関わるとともに、行政と対等な立場で役割と責任を担い、協力・連携する参画と協働によるまちづくりに取り組んでいるところである。</p> <p>そのような中、平成29年度には新たに地域支援専任の地域担当職員を各まちづくりセンターに配置しており、今後も各地域の実情に応じた住民による主体的なまちづくり活動を支援していきたいと考えている。</p>	<p>市民局</p>	<p>地域政策課</p>